

特定小電力トランシーバー 20チャンネル MS50 取扱説明書

各部のなまえ

SP/MIC ジャック

アクセサリのスピーカマイクなどを接続する端子です。

- アクセサリを使用しないときは、カバーをしっかりと取り付けてください(取り付けない状態で使用すると防沫にはなりません)。

LED インジケーター

送信中: 赤色で点灯
受信中: 青色で点灯

ハンドストラップ取り付け穴

▲ / ▼ボタン

電源ボタン

長押し(約0.5秒)すると電源ON、再度長押し(約1秒)すると電源OFFになります。

MODE(On) ボタン

通話モードを切り替えることができます。

また、長押し(約1秒)すると、「ピピッ」と鳴ってキーロック、再度長押し(約1秒)すると「ブブブ」と鳴って、キーロックを解除します。

基本的な通話のしかた

本機には、状況に応じて選べる3つの通話方法(ノーマルモード、グループモード、プライバシーモード)があります。通話のしかたはどのモードでも同じで、ここでは、基本となるノーマルモードの通話方法を説明し、グループモードについては、右記の“グループモードの設定”を行い、プライバシーモードについては、右記の“プライバシーモードの設定”を行ってから、下記の方法で通話してください。

- ◎ 選べるチャンネルは、合計20チャンネル(01～20)です。

① 電源を入れる

電源ボタンを長押し(約0.5秒)すると、電源が入ります。

「ピッ」と電子音が鳴ります。



② チャンネルをあわせる

▲または▼ボタンを押して、相手と同じチャンネルにします。

③ 押しながら話す

PTT(送信ボタン)を押しながらマイクロホンに向かって話します。

- ・ディスプレイに“”が表示されます。
- ・LEDインジケーターが“赤色”に点灯します。
- ・PTT(送信ボタン)を離すと、相手の話を聞くことができます。
- ・防沫構造のマイクロホンを使用しているため、なるべく口元に近づけて話してください。

◎ 相手の声を聞きながら、音量調節ボタンで音量を調節してください。

◎ 連続して送信できる時間は3分以内です。

3分間連続して送信し続けると、送信は自動的に停止します。

なお、送信が停止する30秒になると、ディスプレイに数字でカウントダウン表示され、送信が停止する10秒前には、「ビビビビ」と警告音が鳴ります。

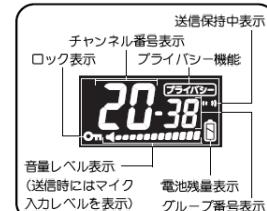
また、送信が停止した場合、その後の2秒間はPTT(送信ボタン)を押しても「ブーッブーッブーッ・・・」と警告音が鳴り送信できません。

● 相手の信号を受信しているときは、送信できません。

LEDインジケーターが青色に点灯しているときは、PTT(送信ボタン)を押しても「ブーッブーッブーッ・・・」と警告音が鳴るだけで、送信できません。

アンテナ(回転式)

通信を行う際は、アンテナを立ててください。



ディスプレイ

通信を行う際は、アンテナを立ててください。

送信保持中表示

チャンネル番号表示

ロック表示

プライバシー機能

音量レベル表示

(送信時にはマイク

入力レベルを表示)

電池残量表示

グループ番号表示

音量調節ボタン

通信を行う際は、アンテナを立ててください。

PTT(送信ボタン)

ワンタッチボリューム機能

として利用も可能です。

スピーカ

通信を行う際は、アンテナを立ててください。

電池ケースロックレバー(底面)

通信を行う際は、アンテナを立ててください。

マイクロホン

通信を行う際は、アンテナを立ててください。

防沫構造のマイクロホン

通信を行う際は、アンテナを立ててください。

なるべく口元に近づけて話してください。

充電のしかた

① チャージヤースタンドの底面に、ACアダプタのプラグを差し込みます。

ACアダプタ(SPN5406A)のプラグ
チャージヤースタンド
(JPCPN0001)

LEDインジケーター
赤の点灯: 充電中
緑の点灯: 充電終了



② ACアダプタをコンセントに差し込み、電源を切ったトランシーバーをチャージヤースタンドに挿し込みます。

③ LEDインジケーターが赤く点灯し、充電が開始されます。

④ 充電が完了すると、LEDインジケーターが緑色の点灯に変わりますので、トランシーバーをチャージヤースタンドから取り外してください。また、ACアダプタもコンセントから外してください。

● 充電時間は、空の状態の電池パックで最大約5時間です。充電時間は電池パックの残量によって変化します。

● 充電するときは、必ずトランシーバーの電源を切ってください。

● 電源を入れたまま充電すると十分に充電ができますが、LEDインジケーターが赤色で点滅することがあります。そのような場合は一度電源を切って再度充電を行ってください。その後LEDインジケーターが緑色の点灯になれば充電が完了となります。

● 正常な充電方法にも関わらず、LEDインジケーターが赤色で点滅する場合は、充電を中止してお買い求めの販売店、もしくは弊社営業所/サービスセンターまでご相談ください。

使用時間の目安

使用できる時間の目安^{*}は次のとあります。

電池残量はアイコン表示で知らせます。

十分使えます。

少なくなりました。

残りわずかです。

すぐにリチウムイオン電池パック(BN60)を充電してください。
(すぐにアルカリ乾電池を交換してください。)

ボタンをロックする

誤ってボタンに触れても、チャンネルなどが変わらないようになります。

● ボタンをロックすると、セットメニューによる設定の変更やオールリセットもできなくなります。これらの操作は、ロックを解除してから行ってください。

ボタンをロックするには

MODE(On)ボタンを長押し(約1秒)すると、「ピピッ」と鳴ってボタンがロックされます。

“On”が点灯します。

再度 MODE(On)ボタンを長押し(約1秒)すると、「ブブブ」と鳴ってボタンのロックが解除されます。

“On”が消えます。



◎ 相手の声を聞きながら、音量調節ボタンで音量を調節してください。

◎ 連続して送信できる時間は3分以内です。

3分間連続して送信し続けると、送信は自動的に停止します。

なお、送信が停止する30秒になると、ディスプレイに数字でカウントダウン表示され、送信が停止する10秒前には、「ビビビビ」と警告音が鳴ります。

また、送信が停止した場合、その後の2秒間はPTT(送信ボタン)を押しても「ブーッブーッブーッ・・・」と警告音が鳴り送信できません。

● 相手の信号を受信しているときは、送信できません。

LEDインジケーターが青色に点灯しているときは、PTT(送信ボタン)を押しても「ブーッブーッブーッ・・・」と警告音が鳴るだけで、送信できません。

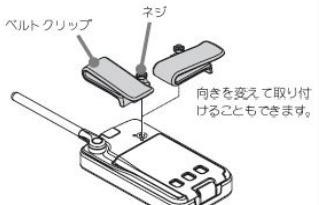
ベルトクリップの取り外しかた / 向きの変えかた

ベルトクリップは、取り外したり、向きを変えて取り付けることができます。

ベルトクリップを外すときは、ネジをコインやドライバーを使用して外してください。

ベルトクリップを取り付ける際は、使用中に外れることがないように、ネジでしっかりと取り付けてください。

● ベルトクリップを横向きに取り付けた状態で、アルカリ単3乾電池ケース(JCPLN0001)の取り付け/取り外しが行える際は、一旦ベルトクリップを外してください。



正常に動かないとき - オールリセット -

スイッチを押しても反応しないときや、『故障かな?と思ったら・・・』の項目に従って点検しても正常に動作しないときは、次の操作を行ってください。

● リセットを行って、登録した内容はすべて消され、工場出荷時の“初期値”に戻ります。

① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。

② ▲ボタン、▼ボタン、MODE(On)ボタンを同時に押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。

③ 「ピッ」と鳴り、オールリセットされます。

